

README

Copyright RICOH JAPAN Corporation. 2010, 2023, All rights reserved.

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書と併せて必ずお読みください。
本書は改良のため、予告なしに変更する事があります。

他社所有名称に対する表示

- ・ Microsoft, Windows, Windows Server, Visual C++ は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe, Acrobat, Adobe Reader, PostScriptは、米国Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ SVF, SVFX-Designer, EUR, Universal Connectは、ウイングアーク1st株式会社の登録商標です。
- ・ 日立製作所, uCosminexus, VOS3/LS, VOS3/US, XMAP, JP1/AJSは、株式会社日立製作所の登録商標です。
- ・ VMware, VMware vCenter Server, VMware Cloudは米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・ Amazon Web Services, AWSは、米国その他の諸国におけるAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ InstallShieldは、InstallShield Software Corporationの登録商標です。
- ・ Unicodeは、米国およびその他の国におけるUnicode, Inc. の登録商標です。
- ・ RICOH, TotalFlow, Prinfina, PDFダイレクト, RPCSは株式会社リコーの登録商標です。
- ・ その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

略称説明、記憶容量の表記については取扱説明書(本編)の「はじめに」を参照してください。

記載項目

1. 動作環境
2. 前提プログラム
3. 関連プログラム
4. メモリ所要容量およびディスク占有量
5. 機能追加内容
6. 修正内容

1. 動作環境

取扱説明書(本編)の「1.4 動作環境」を参照してください。

2. 前提プログラム

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Base-P01 1.3.6以降

3. 関連プログラム

関連プログラムはありません。

4. メモリ所要容量およびディスク占有量

- ・ メモリ所要容量：4GB以上
- ・ ディスク占有量：約7MB

5. 機能追加内容

5.1 「1.3.5」から「1.3.6」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.6に対応しました。

5.2 「1.3.4」から「1.3.5」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.5に対応しました。

(2) PDF帳票のセパレーターの用紙向きをFTP連携の連携口ごとに設定できるように対応しました。
また、印刷属性ファイルによる帳票ごとのセパレーターの用紙向きを設定できるように対応しました。

5.3 「1.3.3」から「1.3.4」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.4に対応しました。

(2) 以下のプリンターに対応しました。
・ RICOH IM 7000/8000/9000/9000T
・ RICOH P 6030 (M)/6020 (M)/6010 (M)/6000 (M)
・ RICOH P 501 (M)/500 (M)

5.4 「1.3.2」から「1.3.3」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.3に対応しました。

5.5 「1.3.1」から「1.3.2」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.2に対応しました。

(2) 以下のプリンターに対応しました。
・ RICOH IM C6000/C5500/C5500A/C4500/C4500A/C3500/C3000/C2500/C2000

5.6 「1.3.0」から「1.3.1」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.1に対応しました。

(2) プリンターとの通信が出来なくなった場合に、ジョブの印刷を一旦中断し、通信回復後に未印刷ページを自動的に再印刷できるように対応しました。

(3) プリンター監視用のログファイルの出力間隔を長くし、ログファイルによるHDD使用量の増加を緩和しました。

5.7 「1.2.4」から「1.3.0」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.3.0に対応しました。

5.7 「1.2.3」から「1.2.4」での追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.4に対応しました。

(2) 以下のプリンターに対応しました。
・ RICOH SP C840/C840M/C840a1/C840Ma1/C841/C841M/C841a1/C841Ma1
・ RICOH SP 8400/8400M/8400a1/8400Ma1

5.8 「1.2.2」から「1.2.3」での追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.3に対応しました。

(2) SP Seriesにて出力先プリンター設定時に、プリンターの給排紙トレイの構成を

自動的に認識するように変更しました。

5.9 「1.2.1」から「1.2.2」での追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.2に対応しました。

5.10 「1.2.0」から「1.2.1」での追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.1に対応しました。

6. 修正内容

6.1 「1.3.5」から「1.3.6」での修正

修正内容はありません。

6.2 「1.3.4」から「1.3.5」での修正

(1) PostScript・RPCS帳票の印刷向きとセパレーターの印刷向きが合わない場合があったため、PostScript・RPCS帳票の解析精度を向上しました。また、PostScript帳票は運用に合わせて既存バージョンの動作仕様にも切り替えられるように対応しました。

6.3 「1.3.3」から「1.3.4」での修正

(1) SP Seriesの一部のプリンターにおいて、対象のジョブを印刷すると印刷中そのまま停止してしまったり、異常終了(通信断)になってしまう問題を修正しました。

6.4 「1.3.2」から「1.3.3」での修正

修正内容はありません。

6.5 「1.3.1」から「1.3.2」での修正

(1) 一部のプリンター機種において、エラーが発生した状態で一定時間経過すると印刷ジョブが異常終了(アボート)になってしまう問題を修正しました。

(2) 一部のプリンター機種において、データサイズが大きい特定の印刷データを印刷すると、印刷途中でタイムアウトが発生し印刷ジョブが異常終了(アボート)になってしまう場合がある問題を修正しました。

6.6 「1.3.0」から「1.3.1」での修正

修正内容はありません。

6.7 「1.2.4」から「1.3.0」での修正

修正内容はありません。

6.8 「1.2.3」から「1.2.4」での修正

修正内容はありません。

6.9 「1.2.2」から「1.2.3」での修正

修正内容はありません。

6.10 「1.2.1」から「1.2.2」での修正

修正内容はありません。

6.11 「1.2.0」から「1.2.1」での修正
修正内容はありません。

－ 以上 －